



勝間田っ子



<http://gakuji.town.shoo.lg.jp/katsumada-es/letters-katsumada-es/>

朝晩冷え込むようになりました。朝の登校時には、マフラーや手袋をつけたり、ポケットに手を入れたりする姿が見られています。登下校で、ポケットに手を入れると、こけた時手をつけなかったり、物から体を避けたりすることができないため、「ポケットから手を出しましょう。」と指導しています。寒さを防ぐ防寒着や防寒グッズについては、お子様とよく話をしていただけたら助かります。あと一ヶ月で冬休み。寒さや感染症から身を守り、全校で元気に2学期の終業式を迎えるといいです。

地域で活躍する子どもたち



プレゼントされた
手裏剣とコマ

プレゼントした
チューリップ

11月7日、高取地区の区長様から、嬉しいニュースが届きました。それは、高取地区で開かれた敬老会のことでした。会の中で、勝間田小学校の3年生1名がチューリップを折り紙で折って、会に参加された方々にプレゼントをしたとのことでした。それに感激された方々が今度は子どもたちに手裏剣とコマを折り紙で折って、一人一人にプレゼントをされたとのことでした。今年は、「つなぐ」というテーマで取り組まれ、子どもたちと地域の方々がつながることができて、喜んでいただけたようです。学校には、交流されたメッセージカードも届き、校長室横に掲示しています。温かい心が育ってきていると感じました。



光町公園での児童の様子



11月13日、勝間田にお住まいの地域学校協働ボランティアをしていただいている山下十喜夫さんから光町公園の清掃活動をしている児童の報告を受けました。6年生3名の児童が夏休み頃から継続して光町公園のゴミステーション周りを清掃しているとのことでした。10月号でもお知らせしておりますが、写真も届けてくださいましたので、再掲載いたします。児童の様子にいたく感激してくださって、とても褒めてくださいました。児童にも朝礼や掲示で広く知らせております。地域で温かく見守り、育てていただいてありがとうございます。

5年生初めての宿泊 海事研修

11月5日から6日の二日間、5年生は渋川青年の家で海事研修を行いました。小学校で初めての宿泊研修でしたが、事前の学習や準備を進め、結団式から自分たちで司会進行を進め、海事研修の目的や目標を確認し合い、学年団としてのまとまりが見られました。

1日目は、カッターこぎでしたが、11月の清々しい晴天に恵まれ、2学級とも全員で漕ぎきることができました。また、夕べには海藻のしおり作りや拾った貝をつかったフォトフレーム作りに取り組み、世界に一つだけの記念に残る作品を持ち帰ることができました。

2日目は、地引き網に挑戦し、見たこともない魚や大きな魚を引き寄せることができ、指導員の方から海の生き物について詳しく学ぶことができました。

宿泊して一緒に寝泊まりしたこと、学校を離れて他団体と協働して生活したことなど、実りの多い海事研修になりました。勝間田小学校のよさをしっかりアピールして帰ることができました。



居住地交流 親睦が深まっています！

二学期に入り、この勝間田地区に住んでいる支援学校在籍児童との交流が行われています。9月25日には、誕生寺支援学校から1年生児童が、11月7日には、誕生寺支援学校から6年生児童が、11月12日には、誕生寺支援学校から4年生児童が、11月21日には岡山支援学校から3年生児童が来てくださいました。お互いに自己紹介をしたり、運動会で踊った踊りと一緒に踊ったり、ゲームをしたりとそれぞれの学年で工夫した内容で、楽しい交流ができていきました。お互いすぐに打ち解け、楽しそうにしている姿が見られました。この交流を機会に、地域で出会ったらいつでも声をかけ合ってくださいね。



6年：新聞じゃんけん
なんでもバスケット
運動会ダンス交流

1年：リズム遊び・じゃんけん列車



4年：風船バレー
ダンス交流

3年：リコーダー奏・歌
じゃんけん列車 給食交流



2年生 勝央町図書館・美術館探検

11月18日、2年生が生活科で美術館・図書館の探検に出かけました。この日は、それぞれ図書館司書さんや学芸員さんなど、専門的な知識を持った方にお話を聞くことができ、児童は興味津々でした。

美術館では、古いマンガやLINEスタンプなどの作品を見たり、バッジ作りのワークショップにも参加したりしました。自分が書いたオリジナルのバッジに大満足でした。図書館では好きな本を探して、じっくり本を読みました。勝央町の文化のよさをたっぷり味わいました。



発見したことを書いてレベルアップしたよ！

11月12日、1年生で校内公開授業がありました。今年は、校内研修で、授業でどのように構成を考えて書かせるか、書いたものをどのように推敲させるかを重点に研究をしています。1年生児童は、身近な生き物や植物を目や耳、鼻や手などを動かさせて発見したことをメモで書き、それを文章に書いて、見直しました。自分で文を綴り、何度も何度も読み直している様子はとても素晴らしいかったです。講師の岡山大学の宮本浩治先生からは、とてもよく書けていたとお褒めをいただきました。単元を見通して毎時間毎時間丁寧に積み重ねて授業していることが少しずつ児童に力をつけていっていました。この授業の前には、2年生でも部内授業が行われ、低学年部として協働した研究になっていました。

